



# 希望の広場

二本松市立小浜小学校

学校だより

第8号

2021.8.23

## 第2学期もどうぞよろしく願いたします。



絵本の読み聞かせの実習の1場面

第2学期85日間が本日から始まりしました。感染症の急拡大により、教育活動の実施が極めて厳しい状況にあります。教職員一同、気を引き締めて、教育活動の充実に努めてまいります。

さて、お子さんは、どのような夏休みをお過ごしでしたか。第5学年の佐藤瑛太さんは、学校の代表として、市主催の「子ども司書講座」に参加しました。この講座は、読書の楽しさや大切さを伝えていくリーダーを育成するねらいで実施され、瑛太さんも活動に意欲的に取り組んでいました。この講座を通して学んだことを、これからの図書委員会の活動や日常の学校生活に生かしてほしいと思います。

各ご家庭でも、この夏休みを振り返り、お子さんが第2学期の目標やめあてをもって学習や生活に取り組むことができるように言葉がけいただければ幸いです。

## ゲームの課金やスマホの与え方について考えるよい機会でした。

7月6・7日の授業参観時に実施したPTA教養委員会主催の「共に考える会」は、ソーシャルゲームの課金や子どもへのスマホの与え方や約束について考えるよい機会となりました。後日、私たち教職員も付箋を読ませていただき、改めて考えさせられる内容がたくさんありました。今後の指導に生かして参りたいと思います。付箋に記述いただいた保護者の皆様の感想を紹介します。どうぞ、ご一読ください。



(自分の子どもは) ゲームやスマホなど、楽しいことにすぐに夢中になってしまいます。使う前に約束を決めたり、話し合ったりしているものの、やはり約束を守るのは難しいようです。見つからなければ、悪いことに手を叩き出すことも正直時々あります。本人に任せすぎず、どんなことをしているのか中身を見て確認することも大人の役目なのだと感じました。本人にも善悪の判断ができるよう、考えさせる時間をもつことも大切と感じました。(保護者より)

「本人に任せすぎず…」という言葉が心に響きました。「自分の子どもは、どんなゲーム、サイトを使っているのか」「(ゲーム等で)だれと遊んでいるのか」「課金等は大丈夫なのか」といった視点から確認することも保護者の役割として大切であると改めて感じました。今後も、学校と保護者の皆さんがつながって一緒に考えることができる機会をぜひつくりたいと思います。どうぞよろしく願いたします。(学校より)

## 保護者の皆様へのお願い

○ 明日24日に、保護者の皆様宛に、「今般の感染症の急拡大に伴う8・9月の教育活動及びPTA活動の一部変更について」の文書を配布します。第6学年の修学旅行やその他の教育活動、PTA活動等が変更になりますので、お読みいただき、予定の修正を願いたします。